

オオサトメシダ *Athyrium x multifidum* Rosenst.

メシダ科 Athyriaceae

1. 利用可能部位：葉柄、中肋

2. 組織形態：

葉柄基部の断面は葉の上面中央がへこんだ円～楕円形で、葉柄上部では上面の稜が発達し、中央の溝は深くなる。表皮は平滑で、比較的柔らかい。下表皮は径が小さく細胞壁が多少とも厚い柔組織で、4～5細胞層程度。維管束は1本で断面盃状、上端の木部は向軸側に大きく巻き込む。向軸側の両「肩」に当たる部分に通気孔条がある。

3. 利用例：知られていない

4. 遺跡出土遺物：知られていない

図説明

A:オオサトメシダの葉柄基部の横断面。ほぼ円形で上面はへこむ。維管束は底のある盃状。B:葉柄上部の横断面。上面には1対の稜が発達し、その間は大きくへこむ。C:盃状の維管束の拡大。D:通気孔条の拡大。



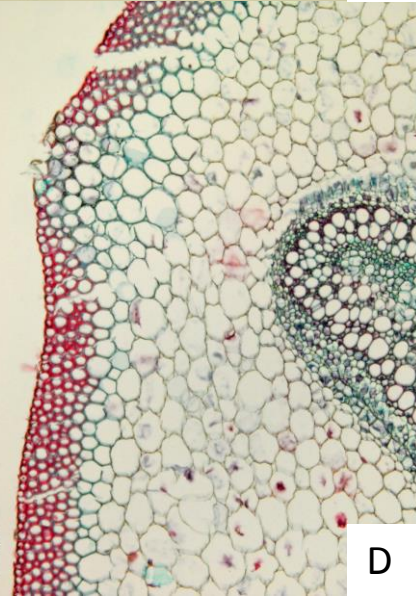
A



B



C



D